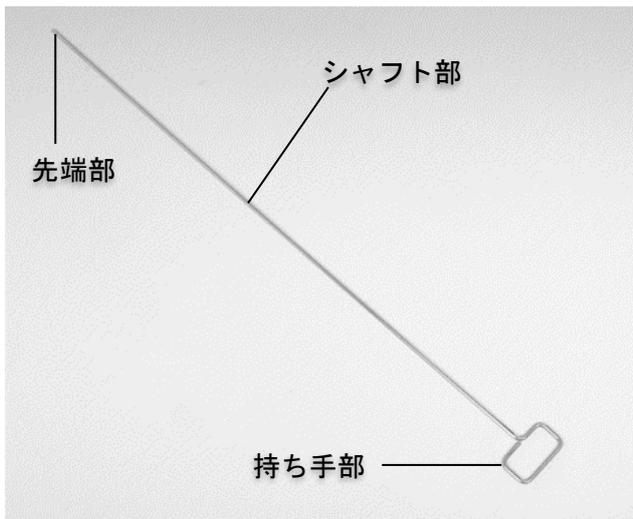


機械器具 49 医療用穿刺器、穿削器及び穿孔器
一般医療機器 ガイド 37150000
VATSガイド

【形状・構造及び原理等】

1. 組成 ステンレス鋼
2. 形状 シャフト部（ドレーンに挿入する部分）：400 mm
シャフト外径：2.5 mm

製品外観図



【使用目的又は効果】

本品は、ドレーンを適正な進路に導くための器具である。

【使用方法等】

併用医療機器

フルーテッド ラウンド スパイラル ドレーン (認証番号：221ADBZX00077000) (規格・型式名)
24725 コアクシャルドレーン 針なしタイプ 24Fr
24726 コアクシャルドレーン 針なしタイプ 28Fr
24727 コアクシャルドレーン 針なし SV24Fr
24729 コアクシャルドレーン 針なし SV28Fr

1. 使用前

- (1) 本品は未滅菌である。使用前には必ず洗浄、滅菌を行うこと。

標準的滅菌条件：高圧蒸気滅菌法

温度	121℃	132℃
時間	20分	10分

- (2) 本品が使用するドレーンのインナールーメンに入っていること、また本品先端部がドレーン内にあることを確認する。その際にシャフト部先端がドレーンのスリット起始部や側孔（先端部小孔）から逸脱しないように注意する。

2. 使用中

- (1) 胸腔内に挿入する際にドレーンが胸壁で抵抗がかからないことを確認する。
- (2) 本品を挿入したドレーンとともに透視下で胸腔内に挿入し適正な位置に入ったことを確認後、本品のみを抜去する。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. シャフト部がドレーンから突出すると、先端部により肺損傷のおそれがあるので注意すること。
2. 胸腔内に挿入する際にドレーンが胸壁等で抵抗を受ける場合は、無理をして挿入せず、ドレーン孔を拡大し抵抗をなくした後に挿入すること。[突出した先端部により肺損傷等のおそれがある]
3. 電気手術器との接触には注意すること。[組織損傷、術者の感電、熱傷につながる可能性がある]
4. 本品に曲がりや破損等を確認した場合には使用を中止し、新しい製品を使用すること。
5. 本品は曲げたり、加工したりしないこと。

その他の注意

1. 塩素系やヨウ素系の消毒剤が付着したときは直ちに水洗いすること。[腐食の原因となる]
2. 長時間、器具に血液等を付着させたまま放置しないこと。長時間、生理食塩水に浸さないこと。[腐食の原因となる]
3. 磨き粉や金属タワシで器具の表面を磨かないこと。[表面に傷を生じ、腐食の原因になる]
4. 強アルカリ性、強酸性の洗剤、消毒剤は使用しないこと。[腐食の原因となる]

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

本品は高温・高湿を避け、温度や湿度が極端に変化しない場所に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄、消毒

- (1) 本品に付着した血液等の目立った汚れは中性洗剤 [pH6～8] を使用して落とすこと。
- (2) すすぎ等に使用する水は、出来るだけ脱塩あるいは蒸留したものを使用すること。
- (3) 洗浄は超音波洗浄を行うこと。超音波洗浄装置メーカー指定の方法にて洗浄すること。
- (4) 洗浄後は十分に乾燥させること。

2. 修理

本品は修理不能品である。本品に曲がりや破損等を確認した場合は廃棄すること。

3. 滅菌方法

- (1) 滅菌はオートクレーブ装置にて行うこと。オートクレーブ装置メーカーの指定の方法にて滅菌すること。
- (2) 滅菌時は乾燥状態を確認すること。
[滅菌不良となる可能性がある]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

泉工医科工業株式会社

製造業者

高砂医科工業株式会社

お問い合わせ先

泉工医科工業株式会社 商品企画

TEL 03-3812-3254 FAX 03-3815-7011